



## ☆はじめに☆

「鬼は～そとっ・福は～うちっ」の元気な掛け声が園に響くと、立春を向えます。でも、まだまだ寒いですね。そんな中でも子どもたちは身体をたくさん動かしたり、部屋の中ではカルタ取り、造形（今は鬼の面やお雛様）、絵本読み（聞かせ）、紙芝居等を楽しんでいます。今年度も余すところあと二か月となりました。一年のまとめの時期として一日一日を元気に過ごしていきます。

## ☆お知らせ☆

先般の懇談会には多数のご参加をいただき、ありがとうございました。当たり前のことですが、子どもたちは生まれ出からのキャリア、心、身体の成長の度合いや、それらが伸びる時期も一人ひとり違います。これを機により一層子ども一人ひとりに寄り添う保育を心掛けてまいります。全体、クラス懇談では皆さまからのご意見や、ちょっとした悩みなど聞かせていただき、保育士、あるいは他の保護者からアドバイスを受けたり、意見交換を図ったり、有意義なものとなりました。今後の保育に反映させてまいります。ありがとうございました。

## ☆お知らせ☆

園では落ち着いた感のあるインフルエンザですが、市のデータによると患者の半数以上は10歳未満の子どもたちで、先々週から先週の学級閉鎖（幼稚園、小中学校）の推移は6件から66件に増えたそうです。まだまだ予断を許しません。お気を付け下さい。



## ☆メディアとの付き合い方（講演より）☆

TV、ゲーム機、スマートフォン、PCなど、身のまわりには「メディア」と呼ばれる機器が氾濫しています。日常生活に深く入り込んで、最近は教育メーカーも「子育て、知育」などのソフトを製作し、たまの休日には子どもにはそれを見せておいて、お母さんはその間に家事を済ませたり、あるいはネットなどを楽しんだり・・・と、そんな場面も常識化しているように感じます。先の医療機関の調査では、22時以降も起きている1歳児が半数以上との結果もあるほどです。メディアを通じた「バーチャルな体験」が増えた分、「親子で遊ぶ」、「自然と親しむ」などの「直接体験」の機会が減り、結果として子どもたちの、

- ・体力、運動能力や持久力
- ・行動力や問題解決能力
- ・柔軟性、想像力、共感する力

などの発達に影響しているとのことで、それが起因して昨今のいろいろな問題（不登校、暴言、暴力）にリンクしてきているとの報告がありました。日常生活における情報の収集は不可欠ではありますが、「ほどほど」につきあいていきましょう。子どもと視線をしっかりと合わせて、親子で共感する体験をたくさん積んで互いに成長していきたいですね。月に一回程度「ノーメディアデー」などを設定されて、静かな生活を送ってみるのもいいでしょうね。

## ☆ ひとつこと ☆

“子どものケンカに親は立ち入るな”昔からよく言われた言葉です。理由はいろいろあると思いますが、ものごとのルールの認識が不十分な子どもたちが集まればちょっとしたトラブルも起こります。これは無理もないことで互いの主張がぶつかり合ってケンカして、悔しい思いをしながら社会ルールを学んでいきます。その裁定に親が入ると公平なつもりでも他方からではそう見えない場合が多く、親同士のケンカに発展したりする可能性も・・・ちゃんと仲直りします。その方法を学ぶのもまた勉強です。

## 行事予定

- 3（月）節分・誕生会  
クッキング（恵方巻き）
- 10（月）身体計測
- 12（水）お弁当交流
- 17（月）学校探検（ミント組：蒔田小）
- 18（火）音楽会リハーサル（南公会堂）
- 24（月）避難訓練

※3日はみんな集まって豆まきをします。心の中の「泣き虫鬼」や「おこりんぼ鬼」を追い払います。

## ☆職員研修☆

- 3（月）保育所自己評価研修（中村）
- 7（金）ムーブメント研修（戸上・原口等）
- 10（金）私立保育園連盟総合研修（園長）
- 18（火）南区公私立園合同定例研修（岡道）
- 27（木）衛生研修（食と菌）（河村）
- 28（金）横浜市主催トッパセミナー（中村）

